



声援に応える長尾、白川、仁比の各氏

日本共産党の白川よう子 松市の選挙事務所前で出発式を行いました。榎昭二県議が必勝の決意を述べました。



次は、選択的夫婦別姓を参議院選勝利で勝ち取りましょう。(二)

# 民主香川

定価 月 100円  
発行所  
民主香川社  
高松市藤塚町  
3丁目13-14  
☎(087)834-7311

## 参院選出発式 住民の願い抱え国会へ

白川氏は、西日本17県で受け止めた住民の願いや思いを「すべて抱えて国会へ駆け上がる」と表明。連続テレビ小説「あんばん」で描かれた「逆転しない正義」を引用し、「私は日本共産党と出合い『逆転しない正義』を見つけた。侵略戦争に命がけで反対し、103年間貫き通した党に平和を求め、命や暮らしを大切にするとみなの思いを託してほしい。参院選で

千葉県に住む長男から電話があり、出産間近の赤ちゃんが順調に育っていることと出産予定日から1年間育児休暇を取ることにしたとのこと。私は遠い香川で、妻の両親もフルタイム勤務で車で2時間以上離れたところに住むため、里帰り出産はしないとは聞いていました。が、夫婦共に1年間育児休暇を取るとは初耳でした。



日本共産党の榎昭二県議は、6月県議会の一般質問で5項目について県の姿勢をたてました。

①高松港・高松空港の「特定利用」指定をめぐり、国との協議内容を県民に情報公開すること、軍事利用を拒否すること、国に対し軍拡中止と平和外交推進を求めることを提案し、郷土・香川を戦場にさせない立場を強調しました。

②物価高騰から県民の暮らしを守るため、消費税をただちに5%へ引き下げるべきと主張

## 県民の平和と生活守れ 榎県議が一般質問

榎昭二県議は、6月県議会の一般質問で5項目について県の姿勢をたてました。

①高松港・高松空港の「特定利用」指定をめぐり、国との協議内容を県民に情報公開すること、軍事利用を拒否すること、国に対し軍拡中止と平和外交推進を求めることを提案し、郷土・香川を戦場にさせない立場を強調しました。

②物価高騰から県民の暮らしを守るため、消費税をただちに5%へ引き下げるべきと主張

### 讃岐の文学碑めぐり ③〇

#### 讃岐の民話を基にした 芥川龍之介「往生絵巻」

文・写真 深沢 雨根

説話文学の最高峰である『今昔物語』(作者不詳)は、平安末期の成立とされ、全三十一巻(うち三巻が欠)およそ千二百話で構成されている。すべて「今は昔...となむ語り伝へたるや」で統一されている。

芥川龍之介は『今昔物語』を基にした小説をいくつも書いた。代表作になった「羅生門」(二十九巻十八話)をはじめ、漱石に絶賛された「鼻」(二十八巻二十話)のほか、「芋粥」(二十六巻十七話)、「藪の中」(二十九巻二十三話)、「好色」(三十巻一話)などである。

「往生絵巻」(一九二二年)もそのひとつで、十九巻十四話の「讃岐国多度郡五位間法即出語」(さぬきのくにのたごのこほりのごゐほ



今昔物語に出る満濃池

芸術家の小細工」だと批判した。これに対して宮本顕治は「敗北の文学」の中で、「蓮華の花を咲かすことは、氏の「あそび」ではない。(中略)求道者に、心から詩的な頌辞を最後に手向けられているのである」と高く評価した。

『今昔物語』には、このほかにも讃岐の民話がいくつも出てくる。二十巻十一話は満濃池に住む竜の話、二十巻十七話は香水郡坂田郷の綾氏の話、二十巻十八話は山田郡と鶴足郡に住む娘の話、三十一巻二十二話は魚をとるため満濃池を決壊させた国司の話、などである。これらの中で最も印象的なのは、芥川が感銘を受けた多度郡の源大夫が往生する物語であろう。